



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年-2012年 RI テーマ

■会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
■委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第7回例会

平成23年8月24日(水) サンパレス福島

■メークアップ/19名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/48名 ■出席率/71.64%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 来訪者ご挨拶・バナー交換
- 4 東京麹町RC東日本大震災復興支援特別委員会 委員長 若林 英博様 スピーチ
- 5 IAC年次大会 報告 (新世代奉仕委員会 伊藤 弘子委員長)
- 6 ゲストスピーチ (地区会員増強委員長 比佐 臣一様)
- 7 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 9月 7日(水) 渡辺健寿ガバナー補佐クラブ訪問
9月 14日(水) ゲストスピーチ 渡邊英世地区新世代委員会委員長
9月 21日(水) 移動例会 タカラ印刷(株)

今週のトピックス

本県の小中学生、園児の県内外への転校は 17,765 人のぼり、埼玉県・東京都・山形県・神奈川県・新潟県の順で、各 100 人以上と全 32 都県で受入いただいているようです。安全な福島のリハビリと生活が早く戻って来るように願うばかりです。

◆会長あいさつ◆ 高橋 和之 会長



毎日うだるような暑さから、ここ一週間は二十度台の梅雨空に戻ってきたような天候が続いていますが、会員の皆様体調は万全でしょうか？日本の四季折々の季節の変化が、昨年あたりから春と秋が短くなって、寒さ厳しい冬と猛暑続きの夏が長くなる様なお話を聞いたことを思い出します。マスコミでは温暖化現象が進行していると一般に報道されておりますが、一方ではミニ氷河期に向かっているとも情報を得ております、どちらが正しいのか真相が気になるところです。

さて、本日の例会ですが、かねてよりお願いしておりました地区会員増強委員会委員長の比佐臣一様のごスピーチ例会となります。先月行われました地区の会員増強セミナーでは、比佐委員長のご講話を楽しく拝聴させていただきました。今日は会員の皆様と共に楽しく学ばせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、東京麹町ロータリークラブからは、東日本大震災の復興支援と、姉妹クラブ締結についてのお打ち合わせに、お忙しい中來訪いただきました。例会後のお打ち合わせ内容については後日ご報告させていただきます。

話は変わりますが、私が昨年会長エレクトの時にガバナー選出の経験をされたクラブのバスター会長様たちから、『大変なときに会長？・・・ご苦労様ですね』とおっしゃられまして、『それはなぜですか？』とお尋ねしますと、『ガバナー年度の疲れと頑張った反動で、ペションと腰が抜けたように重くなるので心してやりなさい・・・』と異口同音にアドバイスをいただきました。私もその様に覚悟をしておりましたが、ありがたいことに今日のように多くのロータリアンに來訪いただき、貴重なお話をいただけたのは光栄そのものであります。黒羽年度・大橋廣治直前ガバナー年度のお陰と感謝申し上げる次第です。

お手元のテーブルに置かせていただきました民報サロンのコピーに掲載されております比佐委員長の言葉が身にしみます。「不思議なご縁に結ばれて、貴方とわたしの今日がある」ロータリーに感謝です。

◆来訪者ごあいさつ◆

東京麹町 RC 東日本大震災復興支援特別委員会 委員長 若林 英博 様



東京麹町RCの若林と申します。大橋直前ガバナーに当クラブにお越しいただき卓話をお願いしましたらお引受いただき有難うございました。



私共で震災に対して何ができるのかと、特別委員会を設置し福島県に照準を定め活動メニュー作り動き出したところです。

- ① 現地の産品を購入しあっせんをする。
- ② 福島東北地方への訪問
- ③ 風評被害対策
- ④ ガバナー会NPO等の受皿・震災孤児フォロー
- ⑤ 友好・姉妹クラブ作り
- ⑥ 募金活動

福島南RCとの姉妹クラブ締結など、震災支援に対しては生きの長い支援をして行ければと考えておりますので、これからも皆様と友好なお付き合い、よろしくお願い致します。

◆ IAC年次大会報告◆

新世代奉仕委員会 伊藤 弘子 委員長



インターアクトクラブ年次大会に参加して参りましたのでご報告させていただきます。年次大会はインターアクトホスト校が県立会津農林

高校、ホストクラブが会津坂下RCということで開催されました。大会テーマは、「知ることは、愛すること～ふるさとを見つめよう」でした。

全体講演には、元校長先生で元福島県現代詩人会会長で『蛭原由起夫』というペンネームをお持ちの村野井幸雄先生の講演がありました。知的に高いボランティアと題し五つの定義を話されました。①無償の行為、②自由な意思、③社会との連携、④先見性、⑤半身の構え、と定義を五つ掲げてお話ししておりました。これからの将来を担う新世代の育成事業に対してロータリアンとして同じ目の高さで考え、聞いたり、意見したりできる多くの機会を作りたいと感じました。当クラブが提唱している成蹊高校からは、三本杉先生と5名のインターアクターが参加を致しました。

◆ゲストスピーチ◆

地区会員増強委員長 比佐 臣一 様



いわき小名浜RCの比佐臣一です。第2530地区の会員増強として、創立40周年の輝かしい歴史を有し、錚々たるメンバーを擁する福島南RCさんの例会でスピーチをする

光栄を与えられたことに深く感謝申し上げます。福島県民は、巨大地震、大津波、原発事故、放射線の風評被害という、人類の歴史上誰も経験した事の無い、未曾有の大災害に遭遇し、必死の戦いをしております。こうした時に、復興支援の為に、東京麹町RCの皆様が、ご来訪と伺い暖かい友情と行動力に深い敬意を表するものであります。

会員増強について、会員候補者推進運動の具体的基準と目標を定める。会員候補者推薦書の書式は、セミナーでお配りした「RC会員候補者推薦書」を参考に、各クラブにおいて適切なものを作成し、その進行具合と成否を掌握すること。たとえば上半期中に、会員一人が、必ず新会員候補者を一人推薦することを目標とする。RCのメンバーなら交友関係の中で、一人ぐらいいはRCにふさわしい方を発掘できると思います。「RCに入っていて良かった、良い人物に出逢うことが出来た、良い友を得た」とお互いが言えるようになり、そして、その人たちが、新会員を又育てて行くことにより、RCの歯車が回って行くことと思っております。

◆スマイリングボックス◆

福島南RC各位の意欲的な活動に敬意を表して！東京麹町RC様のご来訪に感謝して 比佐 臣一 比佐会員増強委員長ゲストスピーチ東京麹町RCの皆様、ご来訪有難うございます。 高橋 和之 麹町RC様をお迎えして 林 克重 比佐委員長スピーチ有難うございます 吉田 和義

スマイル	52,000 円	累計	343,000 円
財団・米山	56,000 円	累計	340,000 円

～一週一言～ 五計

生計・身計・家計・老計・死計の五つを人生の五計という。生計は人生を如何に生くべきかという心身健康法のこと。それを基にしてどういう生活を営むかが身計・家計である。現代社会では人生の計を立てて行くことは非常に難しい。

安岡 正篤 一日一言より

―編集後記―

放射線量はどうか？疑問の多い毎日です。
(鈴木 光一)